

平成25年1月 9日
国土交通省
遠賀川河川事務所

新システム（災害対策用無線アクセスシステム（i-RAS）） を活用した防災訓練を実施します

～公衆通信網被災下における新たな情報通信手段として期待される i-RAS の防災訓練を実施～

昨今、東日本大震災や九州北部豪雨災害等、年々大きな災害が発生している。大規模災害時には携帯電話などの公衆通信網が使用できない状況下であり、自営の通信手段を用いた防災通信機器による支援が必要とされる場合が多い。

そのような災害現場において、近年ではメールやインターネットなどの利用ニーズが高まっている。今回それらに対応した自営通信の手段として、国土交通省専用回線と災害現場を接続する新たな情報通信手段（災害対策用無線アクセスシステム（i-RAS（アイラス）））を活用した防災訓練を実施しますのでお知らせします。

○訓練の内容

九州地方整備局内電気通信職員にて

- ・ i-RAS の防災回線設営訓練（訓練現場－山上中継所間）を実施
- ・ 設置確認後、IP 電話疎通確認及びテレビ会議システムの動作確認訓練を実施。

1. 訓練実施場所 福岡県直方市溝堀1丁目1-1
九州地方整備局 遠賀川河川事務所

2. 取材いただける時間帯 1月17日（木） 9時00分～10時30分

※ 取材を希望される方は、1月15日16時まで、以下の囲みに示した防災情報課 島崎迄にその旨をお申し込みください。

※ 降雨等により、訓練が中止になる場合がありますので、予めその旨をお含み置きください。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

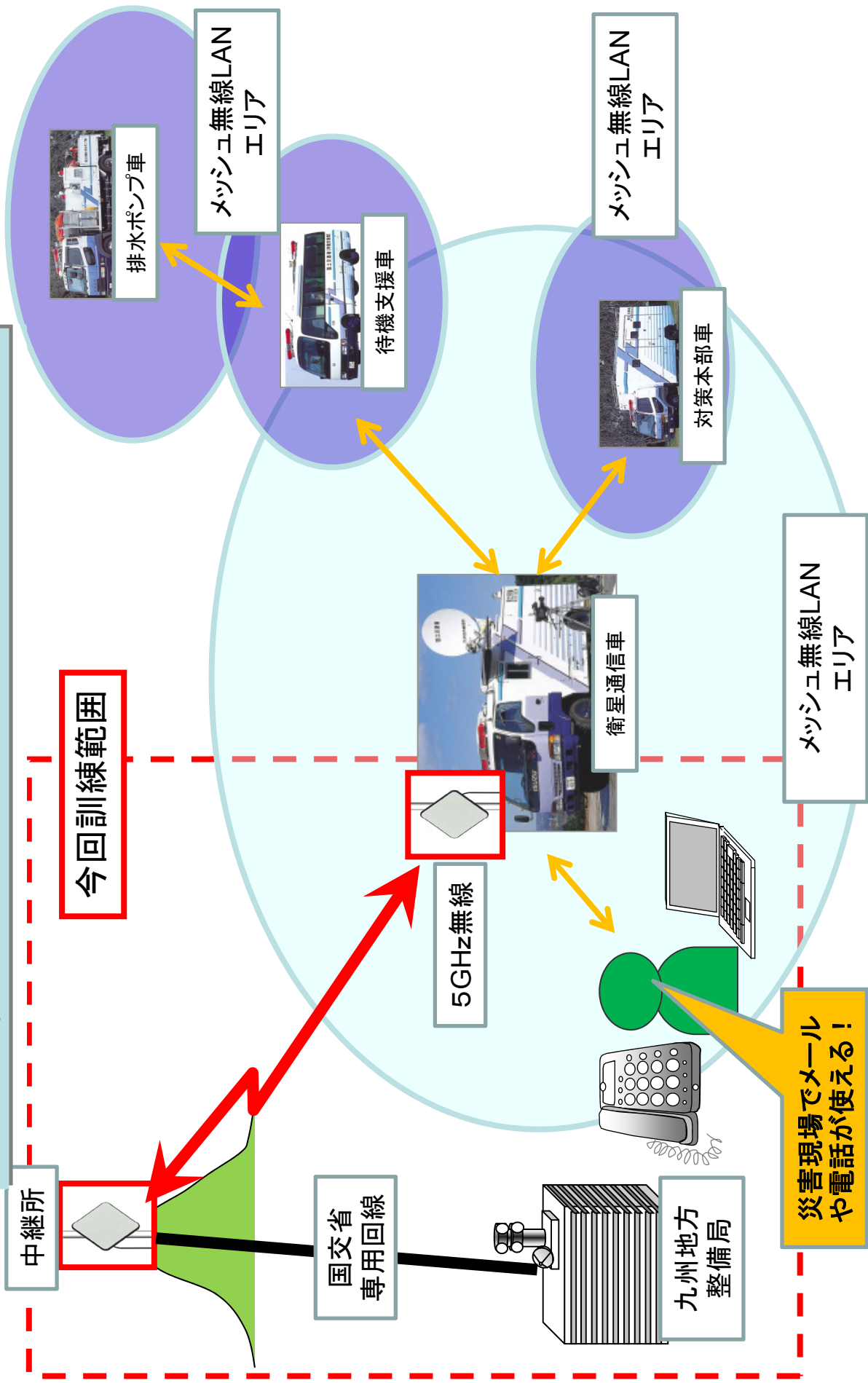
国土交通省 遠賀川河川事務所 防災情報課 島崎（内線 281）
代表 （0949-22-1830）

国土交通省 九州地方整備局 企画部 情報通信技術課 谷川（内線 3352）
代表 （092-471-6331）

【同時発表記者クラブ】

福岡地区・北九州地区・直方地区

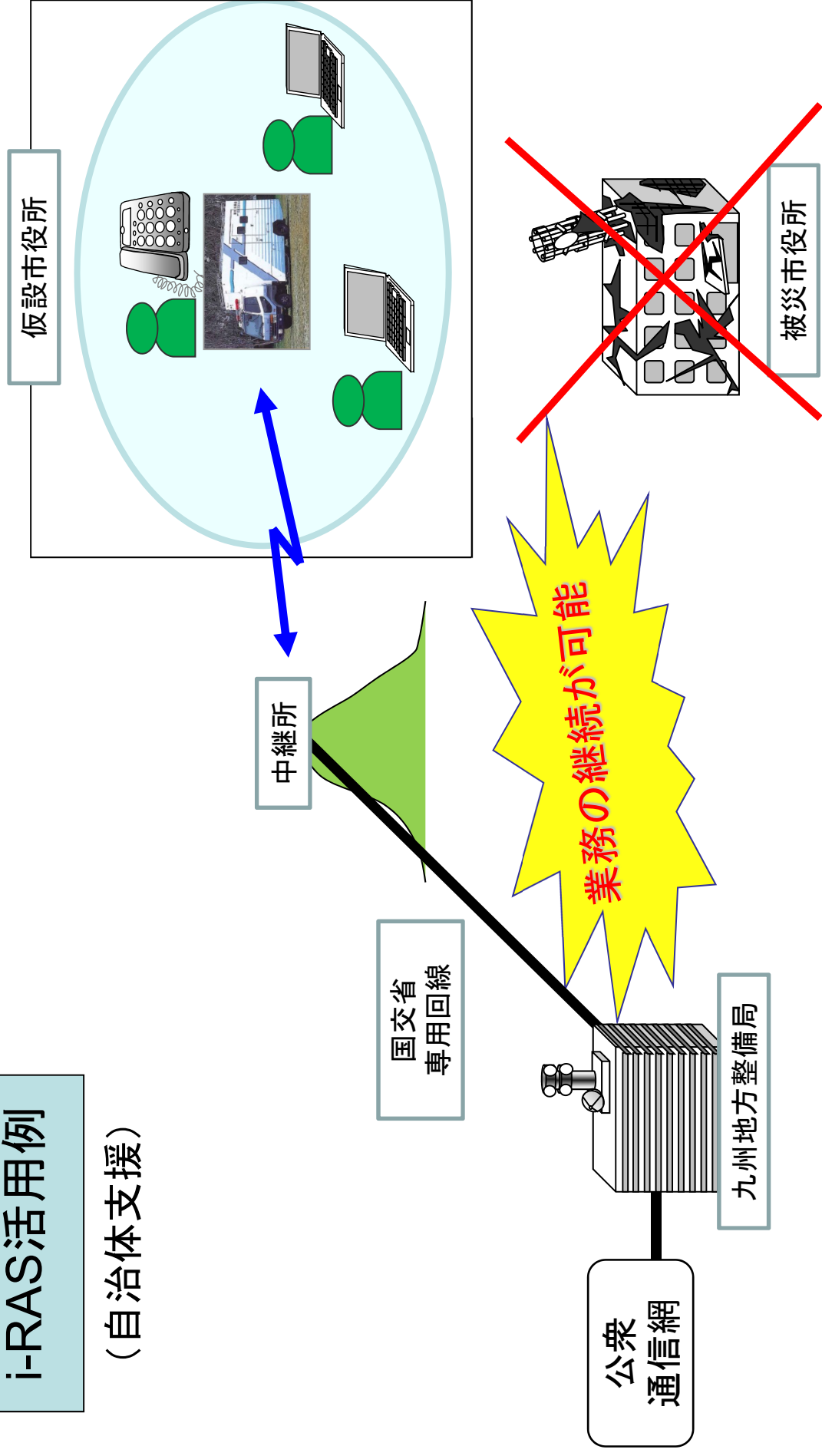
i-RAS(災害対策用無線アクセスシステム)概要図



公衆回線が不通となった災害現場へ無線LANエリアを延長可能

i-RAS活用例

(自治体支援)



無線でLANを延長し、仮設市役所を開設
(電話・メール・インターネット閲覧等が可能)